

女夫石遺跡発掘調査速報

No.4

予告どおり?不定期になってしまいました。もう発掘は終わったと思われる方もいらっしゃったのでは?

今回は、No.2で紹介したあの「黒い土」の層から発掘される遺物たちをちょこっとだけ紹介します。「黒い土」は韮崎市内の遺跡ではほとんど堆積していることはないです。遺跡の中の半分以上にこの土があることはまずないのでとても大切です。「何が大切か」って?考えてみてくださいね。歴史は暗記ではなくて、考えるものですから!!



復元するとこんな感じになります。ちなみにこれは石之坪遺跡(円野町)から発見された土器です。



馬鹿笑い土器だって! 女夫石縄文人は「ハ・ハ・ハ」って笑いながら土器を作ったのかな?

ア・ハ・ハ・ハ・ハ…、そんなことはないだろうね。

マ キ: 黒い土を掘り下げているね。たくさん竹串がたっているよ。たくさん遺物が発掘されているんだね。

ズリ: どんな時代のもが出てきているのかな?

マ キ: 厚くて、模様のある土器の破片が多いみたいだね。縄文土器だよ。あれ?土器に「ハ」の字がたくさん刻まれているよ。

ズリ: 本当だ。「ハ・ハ・ハ」で笑っているみたいだね。

マ キ: 本で読んだけど、山梨中心に作られている曾利式(そりしき)という名前の土器らしいよ。山梨の考古学をやっている人の間では「馬鹿笑い土器」なんて呼ばれているみたいだよ。

ズリ: 「ハ」の字の模様以外にも渦巻きや雨が降っているような模様なんかもあるみたいだね。

マ キ: この縄文土器は女夫石遺跡で焼かれたものなのかな?それとも他の遺跡で焼かれたものなのかな?

ズリ: どちらなんだろうね?この遺跡で焼かれたんなら、その証拠になるようなものがこれから出てくるかもしれないね。

マ キ: とところで、発掘されているのは縄文時代のものばかりなのかな?他の時代には、この遺跡の場所には生活していなかったのかな?

ズリ: そんなことはないんじゃないの。曾利式と違って、模様がなくて薄い土器もあるよ。(つづく)